



やまた

議会だより

四十八坂から見た目の出

No. 131
2011.2.1 発行



うまく回るかな？ (船越防災センター)

12 月
定例会

競売入札妨害事件

町長・副町長の給与減額条例が可決 — 3P

議長の年頭あいさつ — 2P

町の考えを聞く — 5P

委員会レポート

今年度の所管事務調査が終了 — 15P

初めての議会報告会開催 — 18P

町長・副町長の給与を減額

競売入札妨害事件の責任



ごあいさつ

山田町議会議長 昆 暉 雄

明けましておめでとうございます。

平成23年の年頭にあたり、山田町議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます

まず初めに、年末年始にかけての雷雨、大雪により被害に合われた方々に対してお見舞いを申し上げます。また、その対応に当たられました、山田町消防団の皆さま、町職員の皆さま、食事もままに取らず除雪していただいた建設業者の皆さま、関係者の皆さまに感謝とお礼を申し上げます。私は1年中の自然災害がこの年末年始に集中して発生したことにより、新しい年は平穏な年であることと期待したいと思っております。

そして、昨年中、皆さまから賜りました議会への温かいご理解、ご協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年、本町の青少年の活躍は目を見張るものがありました。県中学校駅伝競走大会で山田中学校男子、女子生徒がアベックで優勝し全国大会へ出場。山田高校生徒がボート競技で、本町出身の大学生が相撲競技で全国大会入賞する等、明日を担う青少年の活躍がありました。

内閣府の平成22年11月月例経済報告によると「景気はこのところ足踏み状態となっており、失業率が高水準になる等厳しい状況にある」としております。このような厳しい経済状況の中で新年を迎えますが、私は本年の景気は良くなると思っております。なぜかという、先輩方々がうさぎ年は景気が良くなるかと話しているからです。経験からくるお話ですからそれを信じ、より一層の努力を惜しまずやることにより、景気回復は間違いないと思っております。そして、平成23年度は町の総合発展計画の後期5年のスタートの年度となります。

私どもも、町執行部の皆さまとお互い知恵を出し合い、町民の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、町民福祉の向上を図るべく、その使命を果たしてまいりたいと思っております。

何とぞ、本年も一層のご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。新春にあたり、町民の皆さま方のご多幸と山田町のますますの発展をご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



12月定例会の様子

12月定例会は、12月14日から16日まで3日間の会期で開かれました。一般質問（5ページ14ページに掲載）には10人が登壇し、元職員の競売入札妨害事件や第8次総合発展計画後期計画など幅広く町政について質問。町からは、町長・副町長の給与減額条例や鯨と海の科学館の指定管理者の指定、一般会計補正予算など議案13件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決し会期を閉じました。

鯨と海の科学館は町観光協会が運営

鯨と海の科学館が指定管理者制度に移行することになりました。指定管理者制度とは公の施設の管理・運営を法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度です。指定管理の内容は次のとおりとなります。

▷ 指定管理者となる団体の名称

山田町観光協会

▷ 指定の期間

平成23年4月1日から
平成26年3月31日まで



民間活力により新たな利活用が期待されます

一般会計補正予算4,470万円を追加

一般会計に4,470万円追加する補正予算が提案され、原案のとおり可決されました。

今回の補正は、歳入では国からの地方交付税の増額、歳出では土地開発基金への償還金が重点で、主なものは次のとおりです。

【歳入】

▷ 地方交付税 3,053万円

【歳出】

▷ 町土地開発基金償還金 2,908万円

▷ 延長保育促進事業補助金 1,240万円

町長50%・副町長30% 3カ月減額の条例可決

平成23年1月1日から町長の給与を50%、副町長の給与を30%、3カ月間減額する条例が提案され、審議の結果、賛成11、反対5で原案のとおり可決されました。

「競売入札妨害、偽計業務妨害被疑事件について、元町職員および町内の建設業者7社に対して有罪判決が確定いたしました。このことよって町民の皆さま、議会の皆さまに多大なご迷惑をおかけし、また、行政に対する信頼を著しく低下させたことに対して改めて深くおわび申し上げます。」

◆近年の県内における事件の処分状況

市町村名	事件内容	処分
大槌町	町が発注した工事を巡る談合事件	町長＝減額10%、3カ月 副町長＝減額10%、1カ月
一関市	地震義援金横領事件	課長＝減額10%、1カ月 係長＝減額10%、1カ月
野田村	交通災害共済掛金横領事件	村長＝減額10%、3カ月 副村長＝減額10%、3カ月

反対討論

■佐々木良一郎議員

談合に関わった7業者のうち、先代から続いてきた業者が廃業するという話を聞いています。50%、3カ月減額では足りないと思うよって反対する。

■山崎泰昌議員

次の理由から反対する。新たな新聞報道による新しい事件、これをつやむやにしていたままで結果を出すべきではない。もはや自身の減給では事態の收拾はつかないのではないか。町民の多くも町長はいつ辞任するのかというふうな話をしている。一考するべきだと思う。

議決議案 ダイジェスト

一般議案

■財産の譲渡に関する議決

織笠保育園の民営化に伴い、園舎を引受人である社会福祉法人三心会に無償譲渡しました。

■公の施設の指定管理者の指定に関する議決

堆肥センターの指定管理者を農事組合法人エコファーム山田に指定しました。

■公の施設の指定管理者の指定に関する議決

鯨と海の科学館の指定管理者を山田町観光協会に指定しました。

■公共下水道山田管渠（22-1工区）布設工事の請負変更契約の締結に関する議決

1,417万円を増額。総額6,751万円。

請願

■「保険で良い歯科医療の実現を求める意見書」の提出を求める請願

請願者 岩手県保険医協会

会長 箱石 勝見

審議の結果 原案採択（発議案で意見書提出）

■TPP交渉に関する請願

請願者 新岩手農業協同組合

代表理事組合長 田 沼 征彦

審議の結果 原案採択（発議案で意見書提出）

■TPPへの参加に反対する請願

請願者 農民運動岩手県連合会

会長 久保田 彰孝

審議の結果 原案採択（発議案で意見書提出）

条例関係

■平成23年1月1日から平成23年3月31日までの間における町長及び副町長の給与の減額に関する条例
町長および副町長の給与を減額しました。

■山田町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例

本町が過疎地域に指定されたことにより、固定資産税の課税免除に伴う減収補てん措置の適用対象となったため、課税免除措置について必要な事項を定めました。

■企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

国、県の例に準じて、企業職員（水道事業職員）の給与の種類等を改定しました。

■山田町保育園設置条例の一部を改正する条例

織笠保育園の民営化にあたり関係条項の整備をしました。

■山田町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

船越小学校に放課後児童クラブを設置するため、関係条項を整備しました。

予算関係

■一般会計補正予算（第4号）

4,470万円を増額。総額74億3,416万円。

■漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）

31万円を増額。総額1億3,414万円。

■公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

202万円を減額。総額4億4,054万円。

■水道事業会計補正予算（第1号）

5万円を減額。総額2億8,040万円。

第3回 臨時会

工事請負契約の締結

山田中学校武道場建設

第3回臨時会が10月29日に開かれました。町からは老朽化が進んでいた山田中学校武道場の建て替え建設工事の請負契約を締結する議案が提出され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

契約の金額は9,324万円で、主な質疑概要は次のとおりです。

問 柔道の試合をする場合、剣道場にも畳を敷き詰めて、2面で試合をすることは可能か。

答 練習試合などはできるが、正式な試合はできない。

問 各種大会を招致できるのか。

答 この武道場だけでは難しいが、武徳殿をあわせれば招致は可能である。

問 町産材を利用して建設するのか。

答 構造材や骨組みなどには集成材を利用するが、こまごました部分は町産材の利用も可能である。

第4回 臨時会

一般職・特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正

特別給を引き下げ

第4回臨時会は11月26日に開会されました。町からは昨年と同様、「一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」と「特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」が提出され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

主な改正内容は、特別給、いわゆるボーナスの年間0.2カ月分引き下げです。これは県内において、地方公務員給与と民間事業所の給与を比較したところ、公務員のボーナスの支給割合が民間の支給割合を上回っていることから、その均衡を図るため県人事委員会から勧告されたものです。これに関して次のような質疑が出されました。

問 町内の事業所と比較することはできないのか。

答 給与の比較は、県内の50人以上雇用している事業所を対象としているので、理解を願う。



年末年始にかけて大雪が降りました
(町道豊間根関口線)



佐々木良一郎議員

不正行為

元職員の退職金返還は 全額返還させる

質問 9月の全員協議会で元職員の任命責任者として、町長、副町長、総務課長はどのような責任の取り方をするのか聞いたならば、刑罰が決まってしまうからとの答弁だった。また、新聞報道の「元職員が退職前に町長に価格示唆したことを報告した」ことについて、町長は言っていたが、本当はどう

なっているか。そして、支払った退職金の返還はどのようなになるのか。
沼崎町長 元職員が偽計を用いて公の入札の公正を害すべき行為をしたことに対して、私は町の最高責任者として、副町長は実務の最高責任者として責任を取るべく、本定例会に町長および副町長の給与減額条例を提案した。また、可決後、関

全額返還させる

係職員の処分を行う予定である。

元職員の退職前の価格示唆報告報道は、元職員が事情聴取の前日、私と副町長のところに来て、入札に係

る情報を業者に教えたとのことであるが、報告内容は事件と全く異なるものであった。
退職金については、判決確定により、退職手当支給条例の「当該退職した者が在職期間中の行為に係る刑事事件に關し禁固以上の刑に処せられたとき」に該当するので、全額の返納命令処分が行われる。

町道整備

町外業者にも協力要請

除雪の対応は大丈夫か

質問 談合事件後、業者の中には廃業した業者、大型重機を手放した業者もいると聞いているが、本年度の除雪の対応は大丈夫か。
沼崎町長 除雪作業については、毎年度その対応に苦慮している。特に本年度は、談合事件による廃業および重機等の売却、あるいは人員整理など、町の除排雪計画にも大きく影響したところであり、委託業者の

数や除雪機械の確保を前年度並みにできるのか心配している。
このため、町営工事を受注している町外の業者にも除雪の協力要請をするなどして、本年度は23社と委託契約ができる見通しとなった。

また、一部の路線においては業者の入れ替えもあるが、何とか例年どおりの除雪作業ができるように努める。

その他の質問

- ◆ 旧山田病院の利活用について
- ◆ 合併浄化槽について
- ◆ マツタケ山について

議員10人が一般質問



吉川淑子議員

給食センター

学校給食は地産地消で

町の地場産品を活用

質問 学校給食について問う。

①地産地消の推進
米、魚菜類は地場生産されたものを活用すべきと考えるが。

②給食費の滞納が予想されるが、徴収方法はどうか。また、生活困窮世帯への対応は。

③給食センターの配給能力は、将来、児童生徒が減少すれば余裕が出てくると思う。学校給食以外の活用も考えているか。

沼崎町長

①基本的に町の地場産品を食材として活用し、安全で安心な季節感のあるおいしい学校給食の提供を目指していく。地場産品

の活用を推進するため、本年度中に関係機関、団体と連携する会議を立ち上げて、食材供給システムの構築に取り組みことを考えている。

岩船教育長

②学校にあまり負担がかからないよう、保護者が金融機関で口座振替、もしくは納付書で納入する方法を考えている。生活困窮世帯については、何らかの基準を設けて負担の軽減を図る方向で検討する。

③学校給食センターは文部科学省の補助事業で建設するので、補助事業の目的に沿った利用が基本である。

その他の質問

◆学校教育環境の充実について

◆「やまだ男女共同参画推進プラン」について

児童福祉

放課後児童クラブは

平成23年度船越地区に開設

質問

子供を安心して生み育てる地域社会について。

①病児・病後児保育事業の利用児童数と保育料はいくらか。利用手続きはど

町の考えを聞く



放課後児童クラブでみずき団子づくり (関口児童館)

具体的内容を示せ。

沼崎町長

①現在15名の児童が事前登録を行っており、平成22年度においては11月末で延べ10名が利用している。保育料は、3歳未満児が月額2000円、3歳以上児が月額1500円で、4時間未満の利用の場合はその半額となる。利用手続きは、利用の可否について主治医が署名した「診療情報提供書」を添えて申し込むことになっていて、それに基づき保育所長が利用承認を行っている。

うなっているか。
②放課後児童健全育成事業の放課後児童クラブは現在3カ所であるが、あと2カ所の拡大予定計画の

②平成23年度は船越地区、25年度は豊間根地区に開設する予定である。



稲川勝憲議員

道路行政

山高前から礼堂までの整備は

財政が厳しく難しい

答えている。

このことは、現在も変わっていないが、用地買収がおおむね完了し、県代行事業として要望している町道細浦柳沢線を優先すべきであると考えている。

また、現下の財政状況で早期に計画することは、極めて難しい状況にあることを理解願う。

会において、「重要な生活路線であり通学路線でもあることから、改良整備の必要性は十分認識している」と

質問 平成23年度から始まる第8次山田町総合発展計画の後期基本計画(5年間に、町道織笠外山線の延長整備が盛り込まれていないようであるが、この路線は

小中高生の通学路で、県北バスの通行や猿神、馬指野、田子の木、外山地区から国道45号へ接続する路線であり、山田斎場へ通じる重要路線である。

未整備区間の山田高校前から礼堂の館神地区までの1・5キロメートルについて、早急に国、県補助の導入を探り、延長整備を図るべきと思うが。

沼崎町長 この区間については、平成19年第2回定例

町有地対策

織笠コミュニティプールの土地利用は

関係課等と協議

て検討し、安全確保等の維持に努めてきたところである。

今後も周辺環境整備に努めながら、土地の有効利用の可能性について、関係課ならびに関係機関と協議していきたいと考えている。

質問 織笠コミュニティプールを担当課長は見たことがあるか。

舟田生涯学習課長 担当者から経過や現状については聞いています。先日、教育長に同行し見てきた。

岩船教育長 これまで解体、撤去および有効利用について

質問 織笠コミュニティプールは、平成17年6月に廃止され、ろ過装置や更衣室等は解体、撤去されているが、プール本体のコンクリートやプールを囲むフェンスは残ったままである。プールが廃止されてから5年を経過しているの、これを解体、撤去し、今後の土地有効利用を図るため更地にすべきと思うが見解を示せ。

議員10人が一般質問



雪が積もるとさらに道幅が狭くなります(町道織笠外山線)



山田病院に内科医を



佐藤忠暉議員

入札制度

町長の発言は曲解が多い

曲解の意識はない

質問

①平成22年11月まで専決処分で取り扱われてきた、「設計変更により工事請負契約金額500万円の範囲内で変更すること」について、何回まで専決処分できるのか。
 ②平成22年8月19日に設置された不正行為再発防止

対策委員会は、委員長は町長、副委員長は副町長で運営されているが、これまでの言動から町長副町長はあまりにも曲解が多すぎて誤解を与えやすい。以後、そんな誤解を防止する意味からも町長、副町長はこの委員会から退くべきと思うが。

◆ 談合問題について その他の質問

町の考えを聞く

沼崎町長

①設計変更による500万円以内の変更契約は、議会の委任に基づき町長が専決処分をして、直近の

議会に報告すればよいことになっている。専決処分の回数に定めはない。

②不正行為再発防止対策委員会は、今回の競売入札妨害事件の再発防止の対策について協議するための庁内組織であり、私が主宰するもので私が責任を負っている。曲解うんぬんの指摘があるが、そのような意識は毛頭ない。

医師招へい

県立山田病院に内科医2名を勤務医数が不足で厳しい

①現在、県立山田病院には整形外科医と外科医の2名の医師しかいないが、県立大槌病院は内科医が4名になったという。町は独自で真剣に医師確保をすべきと思う。

指摘だが、確認したところ12月時点で常勤医3名である。

願わくば内科医2名一緒に来てもらうことを考えたほうがよいと思うが、町はどう受け止めているか見解を問う。

これまで県及び県医療局に対して、県立山田病院に内科医2名を配置することについて要望を重ねてきたが、実現に至っていない。

沼崎町長 県立大槌病院は内科医が4名になったとの

このことは、県内の勤務医の絶対数が不足していることと、勤務条件を比較して勤務医自身が勤務場所を選ぶ時代になってきたからだと考えている。

沼崎町長 県立大槌病院は内科医が4名になったとの

と考えている。



三ヶ尻隆雄議員

発展計画

新たな宅地造成を

保留地処分が先決である

質問 本年度から過疎地域に指定された。人口減少ス

トップと将来展望、特に産業活性化のため、第8次総合発展計画後期計画に次の事業を行うべきと思う。

- ① I・Uターン招致のため、四十八坂の町有地内に、限りなく自然を残し、庭菜園が付いた宅地を造成し販売する。
- ② 旧山田病院の旧病棟解体計画を変更し、耐震改修で有効利用する。
- ③ 山田駅前広場（お祭り広場）の取得を発展計画に盛り込む。

沼崎町長

① 現在、町では柳沢北浜地区の土地区画整理事業地内の保留地を販売している。現下の経済情勢では新たな土地造成等は難しく、保留地処分が先決であると思う。

- ② 旧山田病院の旧病棟の解体計画変更については、老朽化が著しく多額の事業費が見込まれるため、解体し、空き地利用していくことで進めている。
- ③ 駅前広場の取得については、難しいものと考えている。

町道管理

誘致工場への出入りは

道路の維持管理に努める

質問

① 指名停止や廃業による除雪計画の見直しが必要と思うが対策は万全か。

② 石峠地区誘致工場は大型トラックの出入り環境が悪いので改善できないか。

沼崎町長

① 除雪は毎年度苦慮してお

議員10人が一般質問



山田駅前広場（お祭り広場）

り、特に本年度は、談合事件による廃業及び重機等の売却、人員整理等があり、委託業者の数や除雪機械の確保が前年並みに行けるか心配している。町営工事を受注している町外業者にも協力要請し、23社と委託契約の見直し

がついた。一部の路線は業者の入れ替えもあり例年並みの除雪に努める。② 石峠地区誘致工場へ進入するルートは東側ルートと西側ルートの2つある。このルートを比較した場合、県道宮古山田線からの西側ルートが最適と考えられる。大型車の通行の支障とならないよう道路の維持管理に努める。



庁内改革を進めていきます



山崎泰昌議員

人事管理

談合問題の責任について

給与の減額を行う

質問

町職員を対象にしたアンケート調査で、「ここ数年、価格示唆に係った職員はいない」とあったが、事実と全く違うのでは。

佐々木総務課長

職員の中には警察の事情聴取を受けた者も何名かい

るので、正直に答えるよう促したが、元会計管理者のほかに金銭を受け取っていた職員がいることは把握できなかつた。

質問

元会計管理者が事情聴取を受ける可能性があることを知りながら、議会に報告

をしなかつたのはなぜか。

沼崎町長

元職員から聞いた話において、金銭の授受もないし職務権限もなかつたので公表しなかつた。故意に隠そうとしたのではない。

質問

新聞2社の報道において、町長の説明責任や副町長への事件に関する口止めの記事があるが、事実なのか。

沼崎町長

説明責任については、結果を見れば責められる部分もあるが、それを否定するものではない。口止めについては、そのような事実はない。

質問

町長に就任してから10年間、談合はないと発言していたが、事実は違っていた。12月10日までは談合事件は決着がついたかと感じていたが、12月11日の新聞で新たな事実が出てきた。町長の任命責任のほかにも管理

責任、管理能力にまでも問題が広がっていると思うが。

沼崎町長

私の責任は重いと思っっている。本定例会で私に対する厳しい処分を審議していただく。

質問

談合事件において、町職員の大部分がうわさも聞いていないので驚いているということ、一般町民との認識の違いがあるのでないか。最低限「不正行為再発防止対策委員会」「懲罰検討委員会」には議員も参加するべきでは。

沼崎町長

不正行為再発防止対策委員会は、事件に早急な対応をするために立ち上げたもので、議員にはほかの場面で協議を行ってもらう。

「職員分限懲戒審査委員会」は、現在、審査の公平公正を保つため厳格な措置を取っている。今までの対応の対応としたい。

町の考えを聞く



後期計画に向けて分野別懇談会が開かれました



黒沢一成議員

入札制度

一般競争入札の対象は

町内業者に限らず

質問 事態の進展があつたので以下の点を問う。

①条件付き一般競争入札の対象範囲は、町内業者限定での考えか。それとも近隣市町の業者を含めるのか。

③元職員が価格指導の事実を上司に報告していたかについて、町長答弁に不十分な点が出てきたが、改めて考えて辞職を認めたことに問題がなかったか。

沼崎町長

①今回の入札制度改革は不正行為の再発防止・透明性の向上・競争性の確保

◆ 旧山田病院の活用策について
その他の質問

議員10人が一般質問

後期計画

過度の負担を残さないか 収支バランスは取れる

を基本理念として取り組んでいる。町内業者に絞ると入札参加者が特定されやすいことから町内業

者に限定せず進めたい。
②工種間のスケジュール調整や完成後に不具合が生じた場合の責任の所在などの課題も考慮して対応したい。
③人事院規則に従い対応した。裁判の結果から言えば判断が甘かったともいえるが、その時点での処置とすれば問題ない。

質問 第8次総合発展計画の後期計画は5カ年の事業費総額が99億1600万円で、前期に比較し単年度当たり5億円の増となる。一方で人口減により、普通交付税が年1億5000万円程度減額となる。収支のバランス、町債の額の推移はどうなるのか、過度の負担を将来へ残すことにならないか。

沼崎町長 後期計画は分野別懇談会や地域懇談会、議会から意見を聞きながら策定を進めた。5カ年間の起債は50億5000万円程度の予定だが、このうち56%の28億1000万円は実質50%程度が普通交付税として交付される過疎対策債を利用する。
その結果、財政基準とされる実質公債費比率の将来推計でも黄色信号の18%は超えず、一般会計のプライマリーバランスでも元金償還額が借入金を上回り、町債の額も減らしていける見込みである。



山田病院と地域医療を守る会の懇談会
(船越防災センター)



佐藤照彦議員

産業・保健

地域医療を守る取り組みは

町民意識の醸成を図る

をどう発展させる考えか。

沼崎町長

① 農林漁業への新規参入や跡継ぎへの助成の新年度実施を。

② 安心できる地域医療の確保を図るため、医師確保、開業への支援、病院・診療所の連携をどう実現するか。行政、医療機関、地域住民が一体となって地域医療を守る取り組み

① 農林業については、各産業間のバランスや県などの補助制度の内容等を考慮しながら検討したい。

② 医師不足は県立山田病院だけでなく、民間医院

◆ 総務行政（シベリア元抑留者への補償）について

その他の質問

町の考えを聞く

建設行政

リフォーム助成の概要は
工事費の20〜30%を補助

も厳しい状況である。将来的には、民間医院を開業していただくための支援制度を検討する必要がある。病院・診療所の連

携については、県立山田病院の診療体制が限界に達した場合、宮古医師会を通じて、町内の開業医院の先生方による応援体制を構築していただきたいと考えている。地域住民の皆さまと一緒に、お医者さんに選ばれる「町民意識」の醸成を図っていきたい。

質問

新築・リフォーム助成の基本的な考え方、予算額等を示せ。

沼崎町長 新年度実施を予定しているのは、仮称「山田町快適リフォーム支援事業」で、新築に対する補助は含まれていない。

対象者は①住民登録をし、居住住宅を所有する者②町税等の滞納がない者などで、施工業者は町内に主たる事業所を有する法人または個人である。

対象工事費は10万円以上で、工種は①下水道に接続する水酸化②住居家屋の耐震補強③バリアフリー化④省エネ化⑤その他住居の機能を維持・向上させる工事である。

補助事業の期間は、平成23年度から25年度までの3カ年間で、毎年度1000万円を補助する。補助金は対象工事費の20%から30%で、かつ限度額を10万円から20万円とする。



豊間根信議員

不正行為

談合事件詳細を説明すべき

対応を含め総括する

質問 裁判は結審し結果が出たが、今日までの経緯をきちんと町民へ説明し、今後の対応を含め総括すべき時と考えるが。

沼崎町長 町全体の信用を著しく損なわれる結果を招いていることを重く受け止める。

再発防止の観点からも今後の対応を含め総括することは極めて重要である。入札制度見直しや倫理条例等の整備を図った段階で総括を行い、町民の信頼回復に努める。

質問 今日までの町長からの説明内容について、町民は町長にだまされた。そして12月11日の新聞報道によ

り、まただまされたと思いが強まった。私も思うが。

沼崎町長 業者側の検察調書の中にそのような表現があったことは事実であろうと思う。しかし、数名の職員が警察から事情聴取を受けたが、業者側が言った内容は確認されていない。

質問 11月末付で退職した職員がいるようだが、本事件と何らかの関係があるか。

佐藤副町長 警察の事情聴取を受けていたこの職員に対し、文書訓告処分することを事前に通知していたが、その前に辞表が出され町長が受理した。

農村施策

町土保全整備計画について 有効な整備事業を検討

質問 豊間根・荒川地区の排水路整備計画を要望していたが、後期発展計画には「多様化する農村の生活環境が与える農業基盤への影響に対応しうるかんがい

排水施設の改善を目指した取り組みに推進する」とあるがその計画内容は。
沼崎町長 農業用排水施設の老朽化による改修・用排水分離が大きな課題となつて

いる。来年度から県の主導により、農業基盤整備の可能性の調査と関係者の合意形成を図るためのソフト事業を行い、結果をみて取り組みを推進していきたい。
質問 新田地区から田名部地区への道路整備計画について問う。
沼崎町長 中山間直接支払制度導入について県と協議中であり、事業への取り組みを推進しその部分と併せて、地域環境に対する意識の高まり等が期待できるものと思う。今後とも有効な整備事業があるか検討していきたい。

議員10人が一般質問



整備が待たれる豊間根・荒川地区の排水路



山田の海は宝です
(四十八坂から見た船越湾)



阿部幸一議員

福祉行政

ひとり暮らし老人への支援は

年額1万円支給している

質問 福祉行政について問う。低所得の老人の生活はどのようなになっているか。

沼崎町長 本町における平成22年4月1日現在の65歳以上の高齢者のみの世帯数は2688世帯、一人暮らしの世帯は1709世帯で、

その中で生活が困窮し、生活保護を受給している高齢者のみの世帯は101世帯となっている。

生活保護制度は申請主義をとっているため、生活困窮者からの申請により、県が調査の上、保護の決定を

活困窮者に関する情報を把握し、保護が必要な方に制度が適切に適用されるよう今後も努めていく。

また、低所得の高齢者への町の支援策は、町県民税非課税世帯で、誰の扶養にも入っていない75歳以上の一人暮らしの高齢者に対し、年額1万円の「ひとり暮らし老人手当」を支給している。

環境整備

山田の海にもっと力を

関係機関と連携し対応を検討

質問 海的环境整備が重要と思うが。

沼崎町長 町は水産業の依存度が高く、特に山田湾を中心とした養殖漁業は長年にわたり生活基盤として漁業者の生活を支えてきた。山田湾は町民の宝であり、後世に引き継がなければならぬと思う。

県が実施しているモニタリング調査等では、山田湾内に流入する河川水の量が少なく、また、他の湾と比

較しても河川水に由来する栄養素が少ないことや、市街地を流れる西川から山田湾に流れ込む家庭雑排水や加工排水等の悪影響も指摘されていて、抜本的環境整備は必要と考える。

町としては下水道事業等による整備があるが、養殖過程における餌料環境の整備が、反対に餌料に合わせた養殖形態の整備を含め、関係機関と連携しながら対応を検討する。

その他の質問

- ◆ TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）について
- ◆ 雇用について
- ◆ 談合事件について
- ◆ ブナ峠の土取場について

町の考えを聞く

3 常任委員会で所管事務調査



担当部署から現状など聞き取り

議会には、総務、教育民生、産業建設の3常任委員会があり、毎年、町の事務・事業の調査や提言活動を行っています。平成22年も7月から所管事務調査が始まりました。調査は委員会が担当する役場の部署を対象に行うもので、調査テーマに沿い職員への聞き取りや現地調査が行われています。

総務 積極的な行政改革を

総務常任委員会（道又秀悦委員長）の調査は、8月6日、総務、企画財政、税務、消防防災の4課に対し行われました。調査テーマは▶行政改革の現状と課題▶地域防災の現状と課題▶町有財産の未登記解消の状況▶町財政の現状と課題（政権交代による影響）▶税の確保対策▶税の申告会場の減少による現状と課題▶消防団員の出動状況▶火災警報器の普及率向上への課題の8項目。

また、旧県立山田病院の内部と山田漁連付近に平成21年度に新設された防災無線装置の設置状況の現地調査を行いました。



防災無線装置（左端）の説明を受けました



建設中の豊間根中武道場を視察

教育民生 学校施設の整備計画策定を

教育民生常任委員会（木下志き子委員長）の調査を7月22日に町民課、国保介護課、健康福祉課、教育委員会を対象に行いました。テーマは▶介護保険の現状と課題▶社会福祉施設の管理運営▶町民の医療と健康▶国民健康保険事業の運営▶環境、廃棄物処理、リサイクル▶学校教育施設の管理運営▶中高連携教育▶学校給食についての8項目。

現地調査では、豊間根中、山田中、豊間根小、船越小、大浦小、轟木児童館、織笠保育園へ出向き、校長等から管理運営などについて聞き取り調査しました。

産業建設 宿泊施設立地の誘致活動を

産業建設常任委員会（山崎幸男委員長）の調査は、7月21日に行われました。対象は農林課、水産商工課、建設課、上下水道課の4課です。調査テーマは▶耕作放棄地の解消▶畜産振興と堆肥センターの現状と課題▶地域営漁計画の進捗状況▶商業振興と観光振興の現状と課題▶柳沢北浜地区土地区画整理事業の進捗状況▶上下水道事業施設の改良整備▶地域産業の活性化策についての7項目。

質疑では、観光振興に関して「町に宿泊施設が無いことが一番の課題」などが出され、耕作放棄地や山田下水道処理場予定地などを現地調査しました。



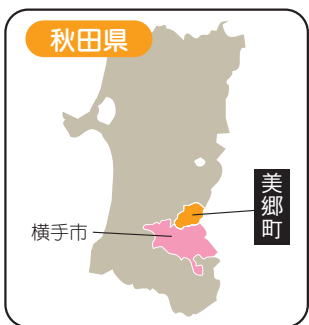
耕作放棄地を現地調査

先進地視察で まちづくり学ぶ

常任委員会では毎年、先進地に向いての町外調査を実施しています。ここではその概要についてお伝えします。



町長などからまちづくりについて説明を受けました（秋田県美郷町）



総務常任委員会と教育民生常任委員会は、10月26日と27日に秋田県的美郷町を訪ねました。
美郷町の人口は、約2万2000人、一般会計の予算規模は約109億円、農業を主な産業とする町です。

総務

協働参画と地域づくりを調査

総務常任委員会は「協働参画（住民参加）のまちづくり」と「活力ある地域づくり」について、調査を行いました。

美郷町は平成20年に住民がお互いに支え合い助け合う気風の醸成、行政と地域住民が役割分担をしつつ互いに協力・補完する関係の構築、地域づくりの活性化などを目的とする「住民参画のまちづくりに関する基本的な方針」を策定しました。

21年には住民活動の拠点となる施設、美郷町住民活動センター「みさぼーと」を開設。コーデイネーター3人が常駐し住民活動のサポートやコーデイネート業務を行っています。

感想

ボランティアの活動拠点を整備し、コーデイネーターを常駐させることで、自分たちのことは自分たちでしようという住民の潜在意識を掘り起こすことがで

きたのではないかとのことであった。学校支援ボランティアからは「自分にとっても良い刺激になった」等の声が寄せられているようである。登録者の大部分が高齢者ということから、生きがいづくり、元気老人を増やす施策にもつながるのではないかと感じた。少子高齢化が進む中、住民協働を進める上で高齢者の協力は不可欠である。

研修全体を通して、行政も住民も町づくりに一生懸命取り組んでいると感じた。本町の参考になる点も多く、大変有意義な研修であった。

教育民生

学校給食と地販地消を調査

教育民生常任委員会は、「学校給食における地場産物の活用」「地販地消」をテーマに調査を行いました。美郷町は「美郷町食育推進計画」を策定し、「今よりも少し、食を気にしてみよう！」をキャッチフレーズに基本方針とそれを達成するための具体的な目標、その目標を達成するための役割・取り組みを定めています。また、町内産品等の

地域内流通ならびに消費拡大を促進し、町の産業の発展と町民生活の安定向上、ふるさと意識と地域融和の向上に寄与することを目的に「美郷町地販地消推進条例」が制定されています。

感想

米食、パン食においても町で関与せず町内業者からの納入で実施している。本町においても地域食材の安

定した計画供給を検討し、産業振興の底上げにもつながる方法を熟慮・計画・実施すべきと考える。

地販地消推進条例を策定し、事業者・町民・町それぞれの役割を明示し目的に向かって事業に取り組んでいく体制は素晴らしい発想である。商工業をはじめ農林水産業の活性化の一つの事例として学ぶべきものが多々あった。町産物などの販売・食事の提供をする道の駅および温泉宿泊施設の運営、地販地消認定店制度

調査を基に町に要望

各常任委員会では、平成22年に行った所管事務調査の結果を基にそれぞれ町政への要望事項をまとめ、12月16日、町長へ提出しました。主なものを抜粋して紹介します。

■総務常任委員会

- ①行政改革大綱の行政改革事項の実施計画である「集中改革プラン」は平成21年度で終了したが、一定の成果を収めており評価できる。今後、継続や新規の改革事項を検討し、より積極的な行政改革の推進に努めるよう検討すること。
- ②行政改革を着実に推進するとともに、歳出の徹底した見直しによる抑制と自主財源の積極的な確保策を講じるなど、効率的で持続可能な財政の推進を図るよう努力すること。
- ③岩手県地方税特別滞納整理機構に町職員を派遣していることから、連携による「搜索」「差押え」「執行停止」などの滞納整理を適正に進め、収納率の向上を図るよう努力すること。
- ④平成23年6月に全ての住宅を対象に住宅用火災報知器の設置および維持が義務付けになることから、住民に周知徹底するとともに普及率の向上について努力すること。

■教育民生常任委員会

- ①平成23年度の環境基本計画見直しに当たって、廃船処理やカキ殻・かす等の処理における循環システムの構築と、生産者、産業団体、町それぞれの具体的取り組みについて検討すること。
- ②保険料を上げずに安定した財政運営を行うため、国の財政負担を増やすよう要望すること。
- ③医師確保のため、一定期間、病院での勤務を義務付けるなど、新たな制度の創設について国に要望すること。
- ④織笠保育園は平成23年度から民営化されるが、児童の安全確保を図るため通園路の整備について検討すること。
- ⑤「早寝、早起き、朝ごはん」について、特に朝ごはんは全校100%を目指し取り組むこと。

■産業建設常任委員会

- ①耕作放棄地について、ソバなど従来の作物だけでなく、町の土地に合った新たな作物の作付けを研究し、大々的に商品化できるような構想を講じること。
- ②農業委員会と同様に認定農業者制度を活用し、後継者問題も併せて解消に向かって努力すること。
- ③地域営漁計画について、町全体の目標を掲げ、各漁協支所に趣旨徹底を図るとともに、平成23年度からの計画では現実性があるものを策定するよう指導し、漁業の復興に努めること。
- ④通年型観光への取り組みを実施するとともに、観光客を受け入れる宿泊施設立地のための誘致活動と観光客に配慮したトイレの整備に努めること。
- ⑤産業の振興のため、中小商工業者への融資資金のさらなる充実を図るとともに、融資限度額の増額を講じること。



産業建設

カキの養殖、漁業後継者の育成を調査

地域協働支援センターの活用による町内福祉向上の連携など、全てにおいて地域

活性化と外貨獲得における町と地域の意欲的姿勢が感じられる。

産業建設常任委員会の町外調査は、11月11日と12日に行われ、「カキのブランド化」「カキを活用した二次三次加工品」「後継者の育成」をテーマに、陸前高田市の広田湾漁協と宮城県東松島市の宮城県漁協鳴瀬支所を視察しました。

広田湾漁協ではカキのむき身を大中小に選別して、大は東京の市場、小は大船渡の市場へ出荷しています。また、陸前高田市には後継者支援事業があり、39歳以下の者が家業の養殖漁業を継ぐと20万円の奨励金ももらえるそうです。

宮城県漁協鳴瀬支所ではブランド化という点で衛生面に気を付けていて、個人で販売するときは売り先を組合に連絡して経路がわかるようにしています。また、カキまつりを開催している1日で5万人が来場するそうです。

「感想」



宮城県漁協鳴瀬支所では共同でカキむきをしています

初めての議会報告会開催

合計107人の町民が参加

議会では、活性化検討特別委員会の提言を受け、11月19日から22日まで、初めての議会報告会を町内11地区で開催しました。今回は報告会の開催要領と参加者の人数をお知らせします。

◆**開催趣旨**
議会の監視機能や政策提言活動など議会活動の状況を地域にアウトリーチして町民に直接報告・説明し、町政に関する情報の提供に努める。さらに、議会活動に対する批判や意見聴取する機会とし、本町議会の機能を高め、活力ある発展に資する趣旨で開催する。

◆**開催地区**
町民体育祭の地区割りのとおり11カ所で開催する。

◆**実施時期**
現議員の考えでは、毎年10月をめどに実施する予定。

◆**報告内容**
予算・決算の審議状況やその他重要と思われる事項。

◆**班編成**
当選回数、年齢を基準に3班で編成する。議会の総意での報告会とするため、各班がアウトリーチする班員の居住地区になるべく充てないようとする。

◆**その他**
質問・要望等で重要なものは、議長から町長へ文書等で報告し、その対応を求める。



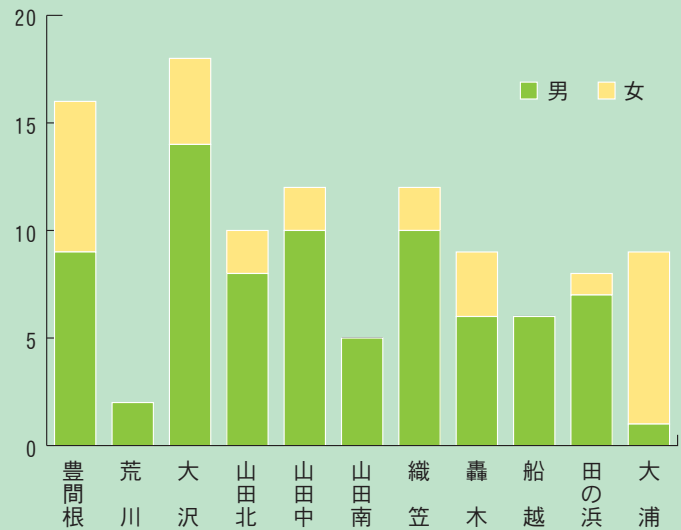
豊間根生活改善センター（1班）



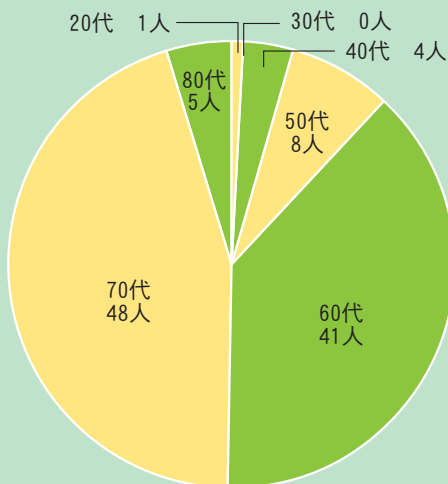
大浦漁村センター（2班）

男女別人数

	男	女	計
豊間根	9	7	16
荒川	2	0	2
大沢	14	4	18
山田北	8	2	10
山田中	10	2	12
山田南	5	0	5
織笠	10	2	12
轟木	6	3	9
船越	6	0	6
田の浜	7	1	8
大浦	1	8	9
合計	78	29	107



年代別割合



年代別人数

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
豊間根				1	10	4	1
荒川						2	
大沢				2	5	10	1
山田北					5	5	
山田中					5	7	
山田南					2	2	1
織笠					3	7	2
轟木	1		1	1	4	2	
船越					1	5	
田の浜					5	3	
大浦			3	4	1	1	
合計	1	0	4	8	41	48	5

上の表のとおり、合計で107人、1カ所平均10人の参加がありました。

なお、報告会で町民の皆さまから出された意見、要望等は次号（4月15日発行）で掲載する予定です。



船越防災センター（3班）

[班編成]

- 1班 道又秀悦・黒沢一成
佐藤照彦・佐藤忠暉
三ヶ尻隆雄・昆暉雄
- 2班 木下志き子・小林隆
稲川勝憲・山崎泰昌
佐々木良一
- 3班 山崎幸男・豊間根信
佐々木良一郎・阿部幸一
吉川淑子・生駒利治

イベントコーナー

傍聴席からひとつ

八木良子さん
(織笠・63歳)

議会を傍聴されたきっかけは何ですか。

婦人会の要請で、毎年1回傍聴しています。今回で3回目になります。

議会を傍聴されての感想はいかがですか。

議会だよりは読んでいます。すぐ忘れてしまっています。その点、実際に聞いてメモしたりすると頭に残り、細部に渡ったやりとりを見てわかりやすいです。今回は時間が無く3人の一般質問しか聞けなかったのが少し残念です。

今後、議会または町政に望むことはありますか。

議会に対しての要望としては、傍聴席の前のしきりが15センチメートルほど低ければよいと思いました。(↑3月定例会までに改修

する予定です。)

町政に関しては、30年前から要望していた学校給食が実現することになったことは本当によかったです。地産地消の推進は素晴らしいことです。孫も好き嫌いがありませんので、給食でそれがなくなればよいと思います。また、月1回程度弁当の日があってもよいのでは。町への要望は、県立山田病院に内科医が来てほしいことと早く新しい図書館をつくってほしいことです。



12月定例会の傍聴者は延べ34人でした

議員出欠表

●病気入院 □公務欠席
△遅刻早退 ○自己都合

月日	本会議種別	欠席者等氏名
10月29日	第3回臨時会	欠席者等なし
11月26日	第4回臨時会	○三ヶ尻 隆雄
12月14日	第4回定例会	○道又 秀悦
12月15日	"	○佐々木 良一郎
12月16日	"	△生駒 利治



生駒利治副議長は、1月15日付けで議員の辞職願を提出し、議会閉会中につき議長が辞職を許可しました。

生駒 利治氏

明日の山田が見えてくる

皆さんで議会を傍聴しましょう。

平成23年第1回定例会は、2月中旬に開会の予定です。



あとうがき

▼新年おめでとうございませう。年末年始にかけて、雷雨、豪雪に見舞われ、農林業のハウスや牛舎等も壊れ、牛も何頭か圧死したそうです。さらに調査が進むにつれて被害が拡大すると思われるますが、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。▼町では農林業用ハウスと畜舎など再建に要する資材代や、圧死した繁殖牛の再導入に要する経費の2分の1補助を考えているようです。ぜひ利用して再建に役立ててください。▼いよいよ待望の学校給食センターが平成23年2月に着工の見通しとなりました。平成24年度2学期から給食開始という事です。好き嫌いのない楽しい給食になればよいですね。▼12月定例会では議員10名が一般質問しました。町婦人団体協議会の会員多数の傍聴の中、質問者も一段と熱がこもっているようでした。(小林)

議会広報編集特別委員会

議長	副議長	委員
黒 澤 一 輝	小 林 隆 成	山 崎 泰 昌
豊 間 根 勝 信	豊 間 根 勝 信	山 崎 泰 昌

